

# 「世界の文化をつなぐ博物館」

講師：須藤健一先生(堺市博物館・館長／国立民族学博物館前館長・名誉教授)

日時：2017年12月11日(月) 11時～12時30分

場所：桃山学院大学 2号館2-301教室

世界中の「珍奇なもの」やお宝をおがむテンプル、あるいは植民地や周縁の地から収集したモノを見る場が博物館である。博物館では、モノと情報をとおして世界の人びとの暮らしや儀礼や宗教を知ることができる。人びとが言語や文化の壁を越えて共生する世界を築くうえで、今ほど文化人類学の知が求められる時代はない。人びとがともに生き、新しい文化を生みだし、世界の人びととつながるうえでの博物館の役割について考えてみましょう。

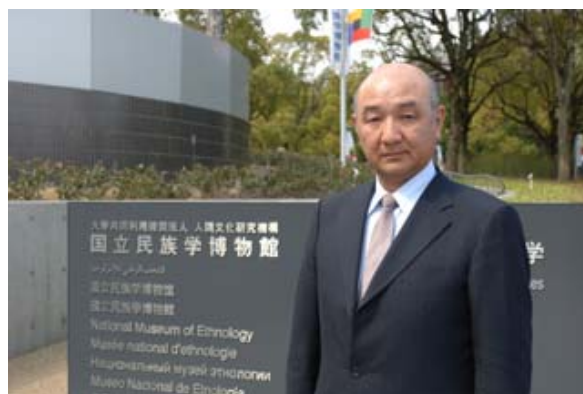
須藤健一 | SUDO Kenichi

堺市博物館長。国立民族学博物館前館長・名誉教授。

1946年生まれ。東京都立大学大学院社会科学研究所博士課程単位修得退学。文学博士(東京都立大学)。

専門は社会人類学、オセアニア。国立民族学博物館准教授、神戸大学国際文化学部学部長、同大学総合人間科学研究科長、同大学国際文化科学研究科教授を経て、平成21年4月から29年3月まで人間文化研究機構国立民族学博物館長。現在は堺市博物館長。主な研究業績に、『母系社会の構造-サンゴ礁の島々の民族誌』(1991、紀伊國屋書店)、『性の民族誌』(1991、共編著、人文書院)、『パラオ共和国-過去、現在そして21世紀へ』(2006、共編著、おりじん書房年)、『オセアニアの人類学-海外移住・民主化・伝統の政治』(2011、風響社)、『グローカリゼーションとオセアニアの人類学』(2015、編著、風響社)、『オセアニアと公共圏-フィールドワークからみた重層性』(2014年、共編著、昭和堂)などがある。

昭和60年第16回渋沢敬三賞(民族学振興会)賞、平成22年第2回石川榮吉賞(日本オセアニア学会)受賞。



問い合わせ：桃山学院大学 学長室 学部事務室 (担当：中森)

大阪府和泉市まなび野1-1 TEL: 0725-54-3131(代)

アクセス：<http://www.andrew.ac.jp/access/>

※公共交通機関をご利用ください



桃山学院大学  
St. Andrew's University